

IBM Deployment Accelerator Services for IBM Cloud Paks

お客様の注文が受諾されると、本「サービス記述書」が、お客様の「クラウド・サービス」をサポートする「アクセラレーション・サービス」に適用されます。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. アクセラレーション・サービス

「アクセラレーション・サービス」は、本「サービス記述書」に記載のとおり専門家によるサービスであり、お客様にリモートで提供されます。本「サービス記述書」において、基本契約が「クラウド・サービス」を参照している場合、かかるすべての参照は、該当する場合に「アクセラレーション・サービス」に適用され、かつ、当該基本契約が、本「サービス記述書」に適用されるものとします。これらの「アクセラレーション・サービス」は、以下の各テクノロジー領域に対して利用可能です。

- Integration and Development
- Digital Business Automation
- Management and Platform

1.1 サービス

お客様は、利用可能な以下のサービスから選択することができます。

1.1.1 IBM Deployment Accelerator Services for IBM Cloud Paks

IBM は、Red Hat OpenShift Container Platform および IBM Cloud Pak の機能を使用して初期ソリューションを設計、インストール、ビルドおよびデプロイするためにこれらのサービスを提供します。アクティビティーには以下が含まれる場合があります。

- ソリューション・アーキテクチャー・ワークショップを実施する。
- Red Hat OpenShift Container Platform をインストールして構成する。
- IBM Cloud Pak の機能をデプロイして構成する。
- 「パイロット・ソリューション」をビルドしデプロイする。

この IBM Cloud Pak Deployment Accelerator Service の各「エンゲージメント」には、最大 280 人時間のコンサルティングおよび提供が含まれます。

アクティビティー 1 – ソリューションの管理

IBM は、本「サービス記述書」に記載された IBM の責任について、6 週間にわたって最大 40 時間のソリューションの管理を提供します。このアクティビティーの目的は、IBM プロジェクト担当者の技術的な指示および制御を提供し、プロジェクト計画の枠組み、通信、レポート作成、手続き上および契約上のアクティビティーを提供することです。このアクティビティーは、以下のタスクから構成されます。

計画

IBM は以下を行うものとします。

- 「ソリューション・マネージャー」と共に、本「サービス記述書」および契約上の両当事者の責任をレビューする。
- 「ソリューション・マネージャー」を通じてプロジェクト関連の連絡を管理する。
- ソリューション環境の確立を調整する。
- 成果物アイテムおよび資料に関する文書化および手順の標準を設定する。
- アクティビティー、タスク、割り当て、マイルストーン、および見積もりを含めた、この「サービス」を実施するためのプロジェクト計画を作成して維持するために「ソリューション・マネージャー」をサポートする。
- お客様と共に、この「サービス」の実施に必要なハードウェアをレビューする。

プロジェクトの追跡およびレポート作成

IBM は以下を行うものとします。

- a. プロジェクトのタスク、スケジュールおよびリソースをレビューし、必要に応じて変更または追加を行う。お客様の「ソリューション・マネージャー」と共に、プロジェクト計画に照らして進捗を測定し、評価する。
- b. 「ソリューション・マネージャー」と共に、プロジェクトで使用する IBM の標準的な請求書書式および請求手順をレビューする。
- c. プロジェクト計画からの逸脱に対処し、これを解決するために「ソリューション・マネージャー」と協力する。
- d. 定期的に設定されるプロジェクトの状況ミーティングを実施する。
- e. プロジェクトに費やされた時間を「ソリューション・マネージャー」に報告する。
- f. 「ソリューション・マネージャー」と共に「変更管理手順」を管理する。また、IBM のプロジェクト要員の技術的作業を調整し、管理する。

完了基準:

- 該当なし

成果物:

- 該当なし

アクティビティー 2 – Solution Architecture Workshop

このアクティビティーに基づき、IBM は、IBM Cloud Pak のアーキテクト 1 名が、お客様のビジネス・スポンサー、ビジネス SME、およびアプリケーション・オーナーとの一連のディスカバリー・セッションを 1 週間主導するようにします。これには、IBM が推奨するプラクティスに基づいた「ソリューション」の使用について概要的な評価を行い、提示することを目的とした、ホワイトボード・セッション、お客様のスタッフとのインタビュー、既存システムの評価、および資料のレビューが含まれる場合があります。タスクには通常以下が含まれます。

- a. お客様のビジネス上の優先事項および目標を明確に理解する。
- b. 「ソリューション」の一部であるシステムおよびアプリケーションを評価する。
- c. IBM Cloud Pak のデプロイメント向けのパイロット・ソリューションを特定する。
- d. 特定したパイロットの特性を引き出し、レビューし、取り込んで、対象範囲を定義する。
- e. IBM Cloud Pak の機能内でそのパイロットが適していること、および 3 週間以内に完了できることを検証する。
- f. そのソリューションの機能的な複雑性、一般的な例外、および処理メカニズムを評価する。
- g. 非機能要件 (セキュリティ、可用性、性能、拡張容易性) およびデータ・アクセスをレビューする。
- h. お客様のシステム・オブ・エンゲージメントおよびシステム・オブ・レコードに関する統合要件をレビューする。
- i. 初期に認識したリスクおよび緩和の可能性を特定する。
- j. パイロットの成功要因および関連メトリックをレビューする。
- k. パイロットの構築に関する対象範囲および計画を定義する。

完了基準:

- 特定されたパイロット・ソリューション、アーキテクチャー・ワークショップの結果、潜在的なインフラストラクチャー/ソリューションのアーキテクチャー、ならびにパイロットのビルド、テストおよびデプロイメントの計画に関する文書の詳細化

成果物:

- 該当なし

アクティビティー 3 – コンテナ・プラットフォーム・ファウンダーションのインフラストラクチャー・ビルド

このサービスでは、IBM が推奨するベスト・プラクティスに従って、IBM Cloud Pak をデプロイするのに必要なお客様の Red Hat OpenShift Container Platform の構築を、IBM Cloud Pak SME が 1 週間支援します。

初期の準備態勢に関するレビューの実施

IBM ソリューション管理チームは、オンサイト・エンゲージメントに先立ち、相互に同意した日付に、準備態勢に関するレビュー・セッションをリモートで実施します。タスクには通常以下が含まれます。

- a. このソリューションの一部として開始される、Red Hat OpenShift およびその他のテクノロジーに必要な前提条件の要点をまとめ、レビューする。
- b. 顧客のインフラストラクチャー・チームが基礎となる計算/ネットワーク/ストレージのリソースを準備できるよう、キャパシティ/サイジングを計算するための情報を収集する。

Red Hat OpenShift Container Platform のインストール

IBM は、「アクティビティー 1」で話し合ったトポロジーに従って Red Hat OpenShift Container Platform 向けの「サービス」のインストールを実施します。タスクには通常以下が含まれます。

- a. コンテナ・プラットフォームをデプロイするためのシステムの準備態勢をレビューする。
- b. 提案されたアーキテクチャーおよびデプロイメント・トポロジーをレビューする。
- c. Red Hat OpenShift Container Platform のインストールを実施する。
- d. LDAP に準拠したユーザー・レジストリーとコンテナ・プラットフォームを統合する (オプション)。
- e. コンテナ・プラットフォームを管理するために必要な一般的な運用サービスをデプロイする。
- f. Red Hat OpenShift コンソールにログインすることで、クラスターの正常性を検証する。
- g. 使用可能なコンテナ・プラットフォームのデモを行う。

完了基準:

- 「要約文書」のインストール

成果物:

- 該当なし

アクティビティー 4 – IBM Cloud Pak のインフラストラクチャー・ビルド – IBM Cloud Pak の機能のインストールおよび構成

このアクティビティーでは、IBM は、IBM Cloud Pak スペシャリストが 1 週間、最大 2 つの機能を備えた 1 つの IBM Cloud Pak を Red Hat OpenShift Container Platform にインストールし、構成して、デプロイするようにします。タスクには通常以下が含まれます。

- a. IBM Cloud Pak をデプロイするためにコンテナ・プラットフォームの準備態勢をレビューする。
- b. IBM Cloud Pak のインストールを実施する。
- c. 「アクティビティー 1」で同意したとおり、最大 2 つの機能を構成する。
- d. LDAP に準拠したユーザー・レジストリーを構成する。
- e. IBM Cloud Pak に必要な一般的な運用サービスをデプロイする (オプション)。
- f. コンポーネント・ポータルにログインすることで、環境を検証する。
- g. IBM Cloud Pak の機能を実証する。

完了基準:

- 「要約文書」のインストール

成果物:

- 該当なし

アクティビティー 5 – パイロット・ソリューションのビルドアップおよびデプロイ

このアクティビティーでは、IBM は、「アクティビティー 3」で IBM Cloud Pak プラットフォームにデプロイされた最大 2 つの機能を使用してお客様の初期パイロット・ソリューションを構築するために、最大 120 時間のサービスを提供します。前提条件として、お客様は、ソリューション・アーキテクト・ワークショップを実施して、デプロイメントについて実行可能な計画および見積もりを構築するための潜在的なソリューションを特定する必要があります。

IBM は、以下のアクティビティーを実施してお客様のパイロット・ソリューションを構築します。

- a. IBM Cloud Pak プラットフォームが稼働し、機能していることを確認する。
- b. パイロット・ソリューションをコンテナ化/開発し、構成する。
- c. IBM Cloud Pak プラットフォームでソリューションを運用できるようにするための構成を実行する。
- d. コンテナ・イメージをデプロイするためのスクリプトを開発する。
- e. Red Hat OpenShift で実行されている IBM Cloud Pak に、コンテナ化されたイメージをデプロイする。
- f. 新しい環境でソリューションの単体テストを行い、デバッグする。
- g. 選択したバックエンド・システム (例: データベース、LDAP) に接続して、構成またはエラーの解決に参加する。パイロット・ソリューションのビルドに先立ち、かかる接続についてすべてのセキュリティー承認を済ませておく必要があります。
- h. 単体テスト中に見つかったプラットフォーム固有の問題の修復を、ソリューションのトラブルシューティングおよびデバッグによりサポートする。パイロット・ソリューションのビルドに先立ち、お客様が実行するすべての機能テスト、および受入基準を定義する必要があります。

完了基準:

- 該当なし

成果物:

- Red Hat OpenShift Container Platform で実行されている機能的な IBM Cloud Pak 環境
- 合意されたテスト・レポートを備えた IBM Cloud Pak プラットフォーム上で実行される、お客様のパイロット・アプリケーション。お客様は、コード・ベースに変更を取り込み、必要に応じて、追加の機能テストおよび機能以外のテストを継続的に行います。
- ソリューションのデプロイメントに関する文書
- デプロイメント・スクリプト (オプション)

以下は含まれません。

- ハードウェアの取り付け
- 仮想マシンおよびオペレーティング・システムの作成
- バックアップ、リカバリー、および災害復旧
- セキュリティーの遵守および強化
- ガバナンス・プロセス
- 機能テストの基準の定義
- 性能テスト
- テストの自動化

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/sd-dpa-labor>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

本「サービス」では、「サービス・レベル・アグリーメント」および「テクニカル・サポート」は提供されません。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「アクセラレーション・サービス」は、「個別契約書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 資料

当該オフアリングの履行により IBM が作成する資料、およびお客様に提供された資料(これらの資料のベースとなる既存の資料がある場合は、かかる既存の資料を除く)は、適用法で認められる限りにおいて職務著作であり、お客様に権利が帰属します。お客様は、当該資料を使用、実行、複製、表示、遂行、他への再使用許諾、配布および二次的著作物を作成する、取り消し不能で無期限の非排他的な国内外における無償の使用権を IBM に許諾します。